

毎回多くの学生の皆さんが国内留学に参加いただいている京都女子大学のご協力を得て、昼休みの時間帯に今秋の国内留学の説明会を、6月4日、5日と連続して開催させていただきました。説明会では、昨年の国内留学に参加いただいた同大学の学生の方に感想などを語っていただきました。



来日したばかりの日本語夏季集中講座に参加しているJCMU学生と教職員を対象に防災訓練を行いました。消防車と救急車に乗ってきていただいた消防署の職員6名の方々の指導のもと、学生全員が消火器の使い方の実践訓練をし、訓話を聞きました。この防災訓練



は、本来の目的の他に日本の社会活動を知る重要な機会となっています。

第1回彦根&ミシガン国際交流会

2014.06.12

2月28日に彦根商工会議所と締結した産学連携協定に基づく取り組みとして、第1回彦



根&ミシガン国際交流会を商工会議所主催で開催いただきました。彦根市民の方々、JCMUの留学生や教職員など約90人が、立食による懇親会や彦根・ミシガンの紹介、ライブコンサートなどで楽しく交流しました。



しが・まなび・発見」への出展

2014.08.06

昨年に引き続き、米原市の文化産業交流会館で開催された「しが・まなび・発見」に出展しました。ミシガンや滋賀県とミシガンとの交流などを紹介したパネル、ミシガン州の州立大学の旗などを展示しました。2名のJCMU留学生と1名のインターンシップの大学院生が、子ども達に展示



内容を日本語で説明したり、クイズに答えた子どもたちにJCMUのロゴの入ったボールペンと面白消しゴムを景品として渡したりして、楽しく交流しました。



2014 年度始業式

2014.09.09

2014 年度日本語・日本文化プログラムには、ミシガン州の州立大学の学生を中心に 35 名が参加しています。

始業式には、滋賀県の観光交流局谷口副局長や地元彦根市の山根副市長をはじめ多くの来賓の方々にお越しいただきました。学生たちは、ひとりひとりが日本語で自己紹介をし、来賓の方々からは、日本語の勉強はもとより、地域と交流を積極的にして日本の文化を知ってほしい、など励ましの言葉をいただきました。



2014 年秋国内留学

2014.09.20

秋の国内留学では、従来 2 週間コースを 1 コースだけ設定してきましたが、大変好評をいただけてきましたので、2 週間コース<9 月 1 日（月）～12 日（金）>に引き続いて 1 週間コース<9 月 16 日（火）～20 日（土）>も開催しました。両コースあわせて 27 名と多くの方々に参加いただき、TOEFL 講座&留学準備コースの英語集中講座とアメリカからの留学生との共同生活などで、文字通り“国内留学”を体験いただきました。





4回目となる今回は、県内各地から8組20名の親子に参加いただきました。保護者の方々にはJCMUの紹介、子ども達には子ども英語教室の体験レッスンを受けていただいた後、16名のJCMU留学生が合流し、バスで長

浜に向かいました。長浜では、親子と留学生が、黒壁周辺の施設の散策を行い、スタンプラリーにチャレンジしました。天気にも恵まれ、和気あいあいととても楽しく有意義な異文化交流体験イベントとなりました。



彦根商工会議所とJCMUは、地域経済の国際化への対応と相互の人材育成を大きな目標とする産学連携協定を2014年2月28日に締結しました。この協定に基づく具体的な取り組みの一つとして、商工会議所の会員等の市民と、JCMUの留学生・教官・スタッフとの第2回交流会を開催しました。JCMU宿舎棟ロビーで、郷土芸能の観賞や立食による懇親会など様々な企画で楽しい時を過ごしました。



ミシガン州オワッソ高等学校で、美術と服飾デザインの教師を長年務め、現在はケンダル芸術デザイン大学非常勤教授であるマーサ・リドルラメティさんに講師を務めていただきました。大津市と愛荘町での、ミシガン在住の著名な芸術家4名による展示会「Art from the Lakes」のため来日される機会を捉え、公開講座の講師をお願いしました。公開講座では、美しいミシガンの自然環境のもとで、彼女の教師として、あるいは芸術家として過ごしてきた経験を語っていただき、これまでに手掛けた作品や現在取り組んでいる作品作りについても紹介いただきました。



子ども向けハロウィーンパーティ

2014.10.31

恒例のハロウィーンパーティには、2歳から小学校4年生までの子ども80人の募集に対して、250人以上の応募をいただき、抽選で参加者を選ばせていただきました。学期も残すところ1カ月あまりとなり、日本語スピーチや学期末試験の準備等で忙しいなかでしたが、フェイスペインティング、歌と踊り、迷路、福笑い、ペットボトルボーリングなど、様々な楽しいイベントをJCMU留学生自身が企画、準備、運営し、子どもたちと楽しいひとときを過ごしました。



ミシガンカップ高校生英語スピーチコンテスト

2014.11.14

24 回目となる今年のスピーチコンテストには、県内各地からの精鋭 33 名の高校生が参加し、様々なテーマについて流暢な英語でスピーチしました。コンテストでは、JCMU のマンディ英語プログラム教官が審査員の一人を務め、また、原田学生支援コーディネーターが、「My Experience of Studying Abroad」をタイトルとする英語での講演を行いました。スピーチコンテストでは、第 1 位から第 6 位までの 7 名（今年度 6 位が 2 名）が表彰され、上位 2 名は 12 月に開催される第 12 回近畿高等学校英語スピーチコンテストに出場します。



第 101 回公開講座

2014.12.20

2014 年 9 月に JCMU 英語プログラム教官に就任したマンディ・クライン教官が講師を務めました。彼女は、2008 年夏に JCMU 留学生として日本語を学習するため来日し、大学卒業後、JET プログラムの一員として長野県の高校で 3 年間英語教師として従事しました。公開講座では、生まれ育ったミシガンでの生活や、JCMU の留学生あるいは英語教師としての日本での経験などを紹介し、特に若い世代の人達が世界共通語となりつつある英語の能力を養い、実際に海外で様々な経験をすることによって国際感覚を養うことの重要性を語りました。



従来、防災訓練は消防署に依頼して実施してきましたが、今回は、来日したばかりのJCMU 学生を含め、全学生と教職員を対象に防火管理者が実施しました。消防署から借用した水消火器を使って、学生全員が消火器の使い方の実践訓練をしました。



訓練後、防火管理者は、今後、実際に消火器を使う機会が一生ないことを強く望むと述べました。

片山デトロイト総領事が来県された機会にJCMU を訪問いただきました。SIA 所長がJCMU と施設の紹介をした後、JCMU 学生および国内留学に参加されている大学生を対象にデトロイト領事館の紹介などのお話をさせていただきました。交流会では、参加者ひとり一人から簡単な自己紹介を聞き、語学力向上に重要なことなど、いろいろな意見交換をしました。



2月9日から3月20日まで、2週間の国内留学を3コース開催しました。今回の国内留学は、「TOEFL&留学準備」、「TOEIC&スピーキング」および「留学準備」の3コースで、合計32名の参加者がミシガンの学生とルームメイトになって共に過ごしながら、英語を集中的に学びました。「難しいコースだったけれど、ルームメイトや友達が協力してくれ、修了することができました。寮に入る方がたくさんコミュニケーションできるので、入ってよかったです」、「これから英語を使う上で、外国人とどう関わるかなど学ぶことが多かった。自分の問題点をより実感できる場になった。人と関わること、関わられたことが楽しかった。」などの意見をいただきました。

